

2022 年度入学式 祝辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

春たけなわの今日のよき日に、皆さんを東京理科大学の新入生としてお迎えできることを大変嬉しく思います。学校法人を代表いたしまして、心よりお祝いを申し上げます。

この二年間は、新型コロナウイルス感染症による影響で、日常生活に様々な制限があったことと思います。先の見えない厳しい状況が続き、不安な時間を過ごした方も多かったのではないのでしょうか。そういった状況の中でも研鑽を積み合格を勝ち取られ、この日を迎えられることに、敬意を表します。また、入学された皆さんを、これまで温かく見守ってこられた、ご家族や関係する方々にも改めて心からのお祝いを申し上げます。

先ほど紹介がありましたように、東京理科大学は 1881 年に東京物理学講習所として創立され、昨年 140 周年を迎えた歴史と伝統のある大学です。

140 年前といえば、日本はまだ明治時代が始まったばかりで、第二次産業革命の真っ只中だった欧米諸国に追い付くために、近代化を進める社会改革が急ピッチで進められていました。そんな中、当時、日本にまだ一つしかなかった大学で、外国人講師からフランス語で理学を学んだばかりの 21 名の若き学徒たちが、誰もが学びやすいように日本語で理学を教える事で未来を担う優れた人材を広く育てていこうと開校したのが、東京理科大学の始まりです。「これからの時代は理学なくして国の発展はあり得ないからこそ、広く国民に理学を普及させたい」という、創立者らの熱い思いと理想が、本学の建学の精神の基になっています。

創立当初から、本学では、学生を丁寧に指導し、しっかりとした実力をつけて卒業させる、いわゆる実力主義の教育を行っています。この方針は、今日に至るまでの 140 年という長い年月の間も受け継がれ、伝統と革新のバランスを取りながら、つねに時代の最先端の教育と研究を行ってきました。そして、これまでに約 22 万人の方が本学を卒業し、中学・高校の理数系教員として、あるいは技術者や研究者として、教育、産業、行政など多岐にわたる分野で幅広く活躍しておられます。本日、入学された皆さんが、この素晴らしい理科大ネットワークの仲間となられる事は、大変な喜びであり、皆さんの事を心より歓迎したいと思えます。

皆さんもご存じのように、民法が改正され、今年の 4 月から成年年齢が 18 歳になりました。成年年齢が 20 歳となったのは本学の創立の時期ですから、約 140 年ぶりの大きな見直しとなります。これにより、若い皆さんに積極的な社会参加を促し、社会をより一層活力あるものにしていく事が期待されています。従って、今日ここにいる皆さんは全員が成人とい

う事になりますので、今はまだ、あまり実感が持てないという方もいるかもしれませんが、是非これからは、成人に伴う責任や権利への正しい理解を深め、自分が成人であることを自覚して行動して下さい。そして国内だけでなく世界に対してもアンテナを広げ、つねに現在の社会状況や世界情勢の中で、“一体自分は一人の成人として、どのような形で個性や能力を発揮したり、あるいは世の中に貢献したり出来るのか”という事を考えながら、さらなる成長を目指して欲しいと思います。今はまさに、若い皆さんの柔軟な発想力やアクティブな行動力が求められているのです。

今我々は、2031年の創立150周年に向けて、「世界の未来を拓く理科大」となることを目標の一つに掲げています。

人類には、SDGsに代表される、気候変動や食糧、脱炭素と自然エネルギーなど、世界的に抱えている課題が沢山あり、多くの研究者が日夜それらに向かって挑戦しています。また、課題の解決を支え、社会を豊かにするための技術として、人工知能や量子コンピュータ、ロボティクスなどの革新も進んでいます。東京理科大学は、そういった課題に対する研究を通じて、世界の持続的な発展に貢献し、皆さんから注目される研究拠点になりたいと考えています。

また、学生の皆さんが本学での教育を通じて、国内だけでなく世界のどこにおいても活躍できるような能力を習得できるカリキュラムを、今後さらに充実させていきます。

大学生の皆さんは、これから、それぞれの学問分野の基礎をしっかりと学んだ後に、最先端の研究に携わりながら、深く勉学を進めていくことになります。どの学科でも、皆、様々な素晴らしい研究に取り組んでいますので、自分が所属する学科にはどんな研究があるのか、是非興味を持って早い段階でその内容を調べてみてください。その事がきっと、大学や大学院あるいは将来に向けた、自分の学問上の目標を見つける良いきっかけとなる事でしょう。そして、大学院生を含めて学生の皆さんは、それぞれに相応しい一般教養や倫理観を身に付けていくと共に、つねに科学技術の諸課題に意欲的に挑戦する、真摯な探求心を持つ人であって欲しいと思います。これから本学での学びにより、自分自身はもちろん世界の未来を切り拓いていく実力を、しっかりと身につけてください。

最後に、皆さんが健康に留意され、今日の想いを忘れることなく、将来自分の夢を実現できるように、有意義で充実した学生生活を過ごされることを祈念して、私のお祝いの言葉といたします。本日は誠におめでとうございます。

2022年4月9日
学校法人 東京理科大学
理事長 浜本 隆之